

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成25年5月2日 (2013.5.2)

【公開番号】特開2011-137453(P2011-137453A)

【公開日】平成23年7月14日 (2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2010-283893(P2010-283893)

【国際特許分類】

F 0 2 C 7/045 (2006.01)

F 0 2 C 7/08 (2006.01)

【 F I 】

F 0 2 C 7/045

F 0 2 C 7/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月14日 (2013.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧縮機吐出空気を抽出する圧縮機吐出側抽出マニホルド（12）と、
 圧縮機吐出空気を受け入れる入口抽気加熱マニホルド（18）と、
 前記入口抽気加熱マニホルドの上流に配置された入口フィルタハウジング（20）と、
 前記入口抽気加熱マニホルドの下流に配置された入口消音器（22）と、
 前記入口抽気加熱マニホルドの出口端部且つ前記入口フィルタハウジングと前記入口消音器の間に配置されて、圧縮機吐出空気を前記入口フィルタハウジングからの外気と混合することによって、前記入口抽気加熱マニホルド内の圧縮機吐出空気の速度を低下させる複数の音響分散ノズル（26）と
 を備える、ガスタービンの入口抽気加熱システム。

【請求項 2】

前記複数の音響分散ノズル（26）はエジェクターノミキサー騒音低減ノズルである、請求項 1 に記載の入口抽気加熱システム。

【請求項 3】

前記入口抽気加熱マニホルド（18）は、主マニホルド（28）と、前記主マニホルドに接続された複数の分岐マニホルド（30）とからなり、前記複数の音響分散ノズル（26）は、前記分岐マニホルド上に配置される、請求項 1 に記載の入口抽気加熱システム。

【請求項 4】

圧縮機吐出空気を抽出する圧縮機吐出側抽出マニホルド（12）と、
 圧縮機吐出空気を受け入れる入口抽気加熱マニホルド（18）と、
 前記入口抽気加熱マニホルドの出口端部で且つ入口フィルタハウジングと入口消音器との間に配置され、圧縮機吐出空気を入口フィルタハウジングを介して外気と混合することにより、前記入口抽気加熱マニホルド内の圧縮機吐出空気の速度を低下させる複数の音響分散ノズル（26）と、
 を備える、ガスタービンの入口抽気加熱システム。

【請求項 5】

前記複数の音響分散ノズル（26）はエジェクターノミキサー騒音低減ノズルである、

請求項４に記載の入口抽気加熱システム。

【請求項６】

前記入口抽気加熱マニホールド（１８）は、主マニホールド（２８）と、前記主マニホールドに接続された複数の分岐マニホールド（３０）とからなり、前記複数の音響分散ノズル（２６）は、前記分岐マニホールド上に配置される、請求項４に記載の入口抽気加熱システム。

【請求項７】

圧縮機吐出空気を抽出するステップと、

圧縮機吐出空気を入口抽気加熱マニホールド（１８）に案内するステップと、

圧縮機吐出空気を入口フィルタハウジング（２０）を介して外気と混合することによって、前記入口抽気加熱マニホールド内の圧縮機吐出空気の速度を低下させるステップと、を含み、

前記低下させるステップが、前記入口抽気加熱マニホールドの出口端部でかつ入口フィルタハウジングと入口消音器との間に配置された複数の音響分散ノズルを介して前記入口抽気加熱マニホールドを排気するステップを含む、

ガスタービンの入口抽気加熱システムにおける騒音低減方法。

【請求項８】

前記入口抽気加熱マニホールド（１８）は、主マニホールド（２８）と、前記主マニホールドに接続された複数の分岐マニホールド（３０）とからなり、前記分岐マニホールド上に前記音響分散ノズル（２６）を配置することを含む、請求項７に記載の方法。